

陽の里



社会福祉法人 新生会
総合ケアセンター サンビレッジ
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地
TEL (0585) 45-5545(代)
URL <https://www.sun-village.jp/>



No.154

テーマ 今村勲記念館リニューアル



新年に寄せて



社会福祉法人 新生会

名誉理事長 石原美智子

あけましておめでとうございます

今年も良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の後半から今村勲記念館（バラ棟）の全面的な改修を行い、皆様にご不便をおかけしておりますが、装いを新たにしてお迎えできるようにいたします。

この記念館は、当法人の創設者である今村勲の亡き後に最初に建設したもので、初代理事長の名を冠して思いを記しました。

当時の社会福祉法人の入所は措置の時代でしたが、国から自由契約で入居できる施設を試験的に造りたいとの依頼がありました。補助金は出せないけれど部屋は個室、預り金3か月という大変厳しい条件でした。でも私はかねてから「質の高い介護」の必要性を感じ、医療とは役割が異なるとの認識でしたので、利用者が自由に入居できる理想に挑戦しました。前例のないものに挑戦する、これは初代理事長譲りかも知れません。

リニューアルされたバラ棟では、アセスメントを基にした介護と、必要な医療を提供できるよう、スタッフ一同研鑽を積んでお待ちしております。

今村勲記念館 リニューアルオープン

サンビレッジ新生苑 副施設長

松野 祐樹

今村勲記念館が新たにリニューアルオープンいたします。今村勲記念館は平成5年に自由契約特養として、住まいと介護をご本人の自己決定により選択できる施設として建設されました。新生会の理念である「他人の痛みを自分のこととして感ずる感性と人が等しく生きてゆく事の福祉観を基本として」を幹に、自立と尊厳のある質の高い介護を目指しました。その想いを胸に、今村勲記念館を新たに30床から20床へと転換し、居住スペースの拡充を行うと共に、内装や家具も一新いたします。

今回のリニューアルにあたり、3つのコンセプトを掲げました。



①「上質なプライベート空間で安心と豊かさを提供します」

全居室、トイレや洗面はもちろんの事、テレビや冷蔵庫、ICT機器の眠りスキャン（睡眠状況・心拍数・呼吸数等が把握できるセンサー）を完備。ご本人のニーズに応じて選択できるような最新のシャワーを設置した居室や、転倒の衝撃が吸収できる

「ごろやわマット」を設置した居室も準備しております。ソファや家具にもこだわりながら、ご本人、ご家族も安心でき、ゆつくりと居住できる生活空間を提供します。

②「医療との連携、多職種の専門性を活かします」

廊下で繋がっている病院や医師、看護師等、医療面でのサポート体制を整え、必要な医療が提供できる環境となります。アセスメントを基にした介護を中心に、作業療法士、言語聴覚士のリハビリ職、また管理栄養士、社会福祉士等を含めた多職種でご本人を支え、各職種の専門性を活かしてまいります。

③「その方の尊厳を大切にします」

今まで培ってこられた経験や人生観等、生活背景を大切に

しながら、その方の尊厳を大切に一人ひとりの個性に合わせたケアをさせて頂きます。ご家族の方も最期の時まで、ご本人と共に過ごせる落ち着いた居室空間を提供させて頂きます。



半世紀近くの歴史の中、新生会の新たな1ページを仲間とともに創り上げていきたいと思っております。

「しんせい語録」の読み解き

新生グループには日めくりカレンダー「しんせい語録」があります。語録には介護現場で感じたことや学んだことへのヒントが掲載されています。



自分が変わる、

相手が変わる、

社会が変わる

新生メディカル池田営業所

池田ステーション 堀部 喜子

機械が苦手な私は、人と関わる仕事をしなくて訪問介護の仕事に就きました。数年後、私の職場にもICT(情報通信技術)化の波が訪れました。介護システムアプリ(メディアケア)が導入され、各ヘルパーに端末が貸与されました。訪問時に認証コードを読み込み、介護記録も端末入力へと変わり、機械音痴で目が悪い私は、不安しかなく、端末の画面を見ることも苦痛でした。しかし、いずれは紙の介護記録がなくなると聞き、仕方がない、やるしかない、そんな思いで簡単な操作だけ行っていました。だんだんと仲間が利用者の変化を記録してくれるようになり、訪問前に確認することでケアに活かせるようになりました。



るようになりました。みんなの取り組みに刺激を受けた私は意識が変わり、避けていた端末操作を進んで入力するようになりました。今、コロナ禍となり、対面でヘルパー同士の情報交換が減少しましたが、メディアケアを活用して把握できています。機械を避けていた私が最先端のICTを使いこなせるようになったのは、仲間の変化に促されて自分もやってみようという気になったからだと思えます。当初、遠目にみていた利用者も「ピットとやったの?」と確認されるほど、ICT化の一員となつていきます。

vol.36

「サンビレッジの仲間たち」

サンビレッジ本巣ケアマネジメントセンター

ケアマネジャー 三谷 俊宏

当法人として3拠点目となる居宅介護支援事業所「サンビレッジ本巣ケアマネジメントセンター」(本巣市三橋)が令和4年10月に開設されました。サンビレッジの居宅介護支援事業所は介護保険制度がスタートした平成12年、池田町のサンビレッジケアマネジメントセンターから始まり、令和元年にサンビレッジ瑞穂ケアマネジメントセンターを開設、そして令和6年に本巣市温井地区にオープンする施設に先立ち、今回、居宅介護支援事業所が立ち上がりました。

サンビレッジ瑞穂の10年以上の歩みの中で、たくさん仲間と仕事をさせていただきました。施設の職員、事務員、新生メディカルの職員が事務所に集まり、壁のない居心地のよい空間の中で、お互いの専門性を高め合いながらここまで来しました。「開かれた事務所」とスローガンを掲げた様に、どんな時でも笑顔で内部・外部問わず丁寧に接する姿勢を大切にしてきました。そして、ケアマネジャーとしてもプロ意識を持ち、今までの地域はもちろん、本巣市・北方町と視野を広げ、その地域の特性を学び、ご利用者に合ったサービスチームで関わられるように尽力していきます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



User's Voice 「ご利用者の声」



最期までその人らしく、あるために

「ご利用者が入所する際、「ご家族に「その人らしくあるためのメッセージ」と、最期をどのように迎えたいかを記載する用紙をご家族にお渡しします。入所時に本人の意向を確認できない場合もあり、その判断をご家族に委ねます。」

先日、「ご家族から「私も含め、今後を考える良い機会となりました」と伺いました。」

本人にとってどのような人生の締めくくりが最適であるのか、ご家族でお話する良い機会となりました。



事例報告会

リハビリセンター白鳥 増田 縁

今年の事例報告会も昨年に続きオンラインにて開催されました。新生会では自分の学びを言語化する為に1人1事例を報告しています。今年は白鳥の代表として事例報告をさせて頂きました。事例をまとめる過程で、自分たちのケアを振り返り、チームで取り組んできたことの学びを深めることが出来ました。今後も、様々な事例にチャレンジしチーム力を高めていきたいと思っております。



サンマルシェ開催 (10/22・23)

サンビレッジほづみ駅前 サンマルシェ実行委員長 高田 彩葉



サンビレッジほづみ駅前では「サンマルシェ」を初開催しました。コロナウイルスの影響で開催の難しいイベントが多い中、「開催方法を工夫して、地域や家族との繋がりを築けないか」と職員一丸となり考えました。ご利用者を始め、沢山の地域の皆さんや業者の方、ご家族が作品を提供して下さい、バザーで販売。皆さんと共に作り上げたとても素敵なイベントになりました。今回の売上金はウクライナへの支援金とさせていただきます。

永年勤続表彰

大橋 孝博

サンビレッジケアマネジメントセンターII

私が入職した当時、男性のヘルパーは全国的に稀で今の様に多くの施設で勤めていることはありませんでした。その様な時代に新生会で就職させて頂きました。そして当時のご利用者の方やご家族の方に受け入れて頂き今日まで繋がっています。



左・新生会理事長 今村 寧 右・勤続40年表彰 大橋 孝博

皆様との出会いとふれあいに感謝申し上げます。



👉 ホームページもチェック!
各エリア、トピックス、ブログ
毎月更新しております。

<https://www.sun-village.jp/>